

NY マーケットレポート (2017年3月22日)

NY 市場では、米国の医療保険制度改革法を撤廃・代替する共和党法案の議会通過が不透明な状況であり、トランプ米大統領の景気刺激策に遅れが生じるとの懸念が引き続き材料視され、ドルは主要通貨に対して下落した。

また、世界的な株価下落を背景に、投資家のリスク回避の動きも強まり、比較的安全な資産とされる円を買う動きが優勢となった。

特に、ドル/円は一時 110.73 まで下落し、昨年 11 月 22 日以来の安値を付けた。一方、英ポンドは、ロンドンの議会議事堂付近で発生したテロ事件を受けて下落したが、その後は値を戻した。

2017年3月22日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.50	111.80	111.33
EUR/JPY	120.45	120.86	120.35
GBP/JPY	139.05	139.51	139.02
AUD/JPY	85.51	85.94	85.33
EUR/USD	1.0802	1.0819	1.0789

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.51	111.14
EUR/JPY	120.47	119.80
GBP/JPY	139.12	138.48
AUD/JPY	85.51	84.93
EUR/USD	1.0810	1.0776

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.13	111.43	110.73
EUR/JPY	120.02	120.34	119.69
GBP/JPY	138.71	138.82	137.78
AUD/JPY	85.34	85.44	84.82
NZD/JPY	78.35	78.54	78.02
EUR/USD	1.0800	1.0825	1.0785
AUD/USD	0.7680	0.7685	0.7657

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20661.30	-6.71
S&P500	2348.45	+4.43
NASDAQ	5821.64	+27.82
日経225 (CME)	18915	-55
トロント総合	15348.46	+35.33
ボルサ指数	48487.30	-101.75
ボベスパ指数	63521.34	+540.96

3/23 経済指標スケジュール

14:00	【シンガポール】2月消費者物価指数
16:00	【トルコ】3月消費者信頼感指数
16:00	【ドイツ】4月GfK消費者信頼感調査
16:45	【フランス】3月生産アウトロック指数
16:45	【フランス】3月企業景況感指数
17:30	【香港】4Q経常収支
18:00	【欧州】3月経済報告
18:00	【ポーランド】2月失業率
18:30	【英国】2月小売売上高指数
20:00	【英国】3月CBI流通取引調査
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
23:00	【米国】2月新築住宅販売件数
00:00	【米国】3月カンザスシティ連銀製造業活動指数
00:00	【欧州】3月消費者信頼感

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1249.70	+3.20
NY 原油	48.04	-0.20
CME コーン	358.75	-2.50
CBOT 大豆	999.75	-1.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.248%	1.256%
3年債	1.517%	1.528%
5年債	1.935%	1.940%
7年債	2.218%	2.225%
10年債	2.401%	2.414%
30年債	3.016%	3.032%

ドイツ10年債	0.408%	0.459%
英国10年債	1.176%	1.253%

3/23 主要会議・講演・その他予定

- ・米10年TIPS債入札
- ・ミネアポリス、ダラス連銀総裁 講演
- ・イエレンFRB議長 講演

NY 市場レポート

20 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) -2.7% (前回 3.1%)

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

3/17・3/10・3/3・2/24・2/17・前年同期
 申請指数・・・-2.7・3.1・3.3・5.8・-2.0・-12.6
 購入・・・・・・-2.1・2.3・1.7・6.5・-2.8・5.0
 借換え・・・・・・-3.3・4.1・5.2・5.1・-1.0・-26.0
 固定金利・・・・・・-3.6・2.5・2.9・5.7・-1.7・-16.3
 変動金利・・・・・・6.9・9.8・8.3・6.3・-4.7・60.0

固定金利 30 年・・・4.46・4.46・4.36・4.30・4.36

固定金利 15 年・・・3.68・3.66・3.57・3.51・3.56

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1 月米住宅価格指数 (前月比) 0.0% (予想 0.4%・前回 0.4%)



出所 : Bloomberg

22 : 56

ドル/円は、昨年 11 月 23 日以来 4 ヶ月ぶりに 111 円台を割り込んだ。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2 月米中古住宅販売件数 548 万件 (予想 555 万件・前回 569 万件)

2 月米中古住宅販売件数 (前月比) -3.7% (予想 -2.5%・前回 3.3%)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《中古住宅販売》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
販売戸数	548	569	551	560	553	547
北東部	69	80	76	80	74	73
中西部	120	129	131	133	133	132
南部	234	231	223	225	220	218
西部	125	129	121	122	126	124

(万件)

《 経済指標のポイント 》

NAR（全米不動産業者協会）が発表した2月の中古住宅販売件数は、年率換算で前月比-3.7%の548万件となり、2ヵ月ぶりに減少した。前年同月比では+5.4%だった。前月が2007年2月以来の高水準だった反動で減少となった。ただ依然として住宅需要は高く、在庫もひっ迫している。

①市場の住宅在庫は、2月末時点で前月比+4.2%の175万件、前年同月比では-6.4%と21ヵ月連続で前年水準を下回った。販売に対する在庫率は3.8ヵ月と前月比+8.6%。

②一戸建て住宅は、前月比-3.0%の489万件、前年同月比では+5.8%。集合住宅は-9.2%の59万件、前年同月比では+1.7%。

③成約物件の中間販売価格は、前年同月比+7.7%の22万8400ドルとなり、60ヵ月連続で前年同月を上回った。平均販売価格は+5.8%の27万100ドルだった。

④地域別では、最大市場の南部が前月比+1.3%、北東部は-13.8%、中西部は-7.0%、西部は-3.1%だった。

23：30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫	495万バレル増加
ガソリン在庫	191万バレル減少
留出油在庫	281万バレル減少
クッシングの原油在庫	142万バレル増加

23 : 45

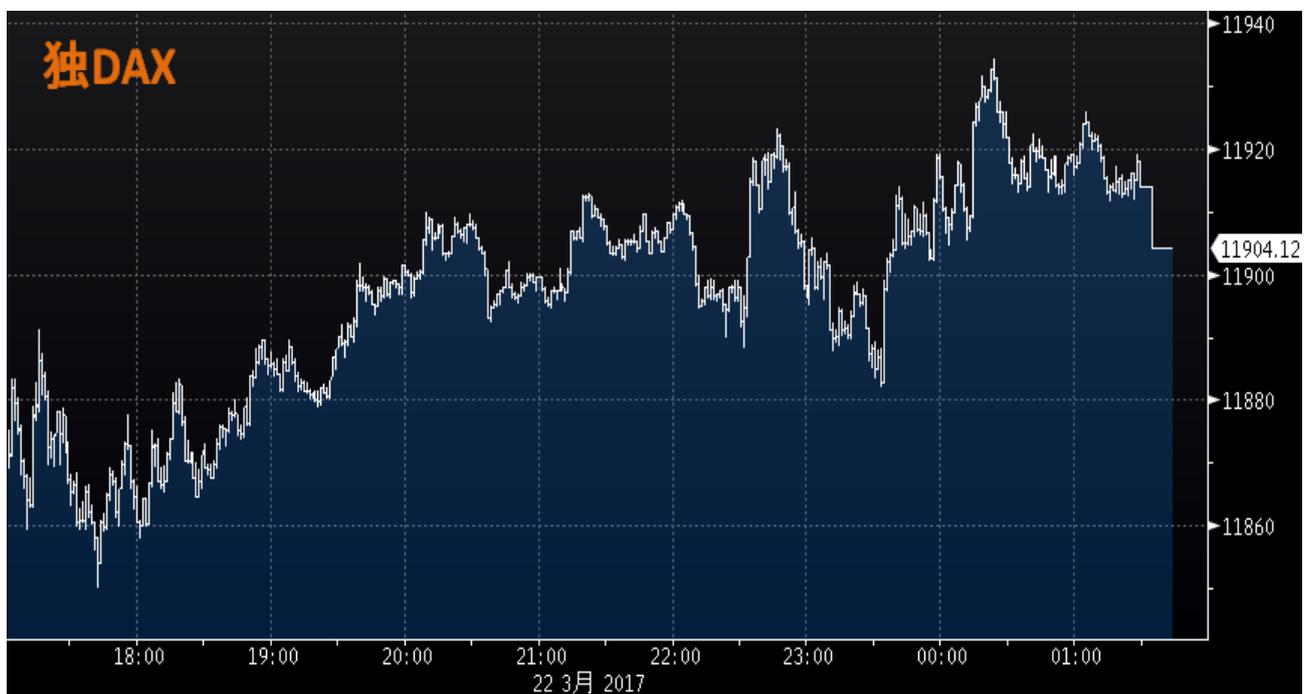
ロンドンの英議事堂の外で発砲事件が発生との報道。



出所 : Net Dania

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、前日の米株安に加え、日経平均株価の急落を嫌気して、主要株価が軟調な動きとなった。その後も米国の経済政策を巡る先行き警戒感で売りが優勢となった。

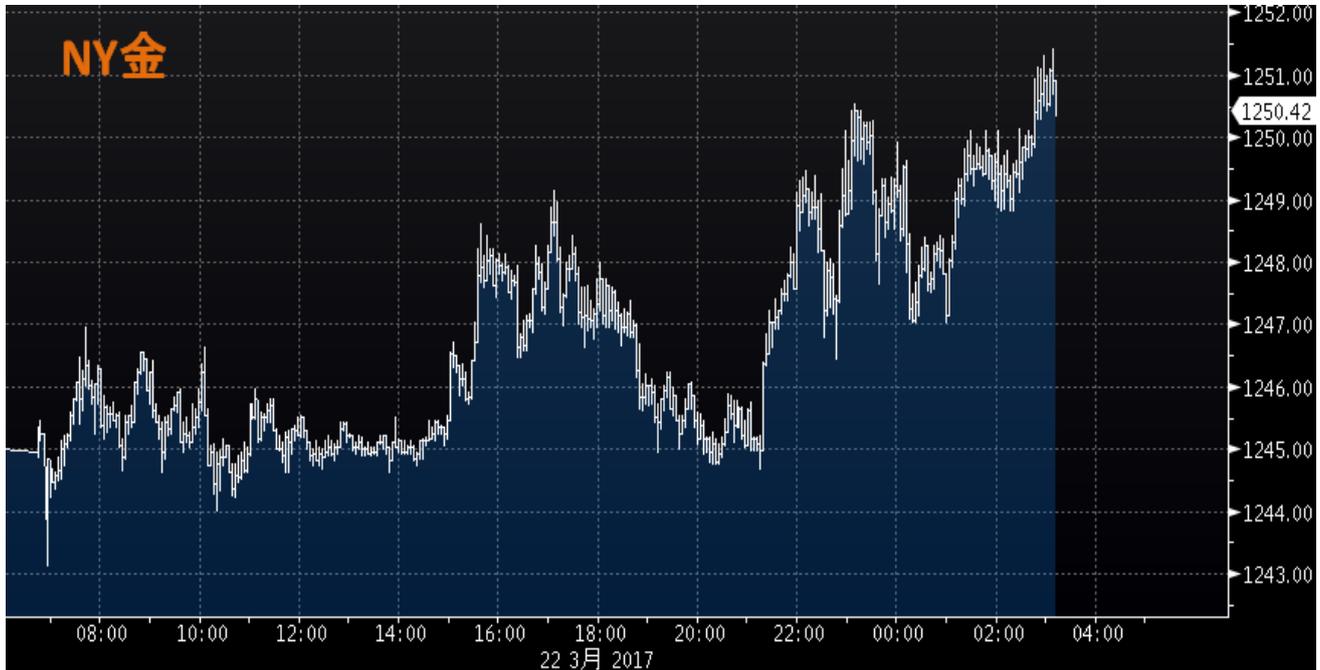


出所 : Bloomberg

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 3.20 ドル高の 1 オンス=1249.70 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米政権の経済政策を巡る懸念からドルが円などに対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。終値ベースでは、今月 1 日以来、3 週間ぶりの高値水準となった。

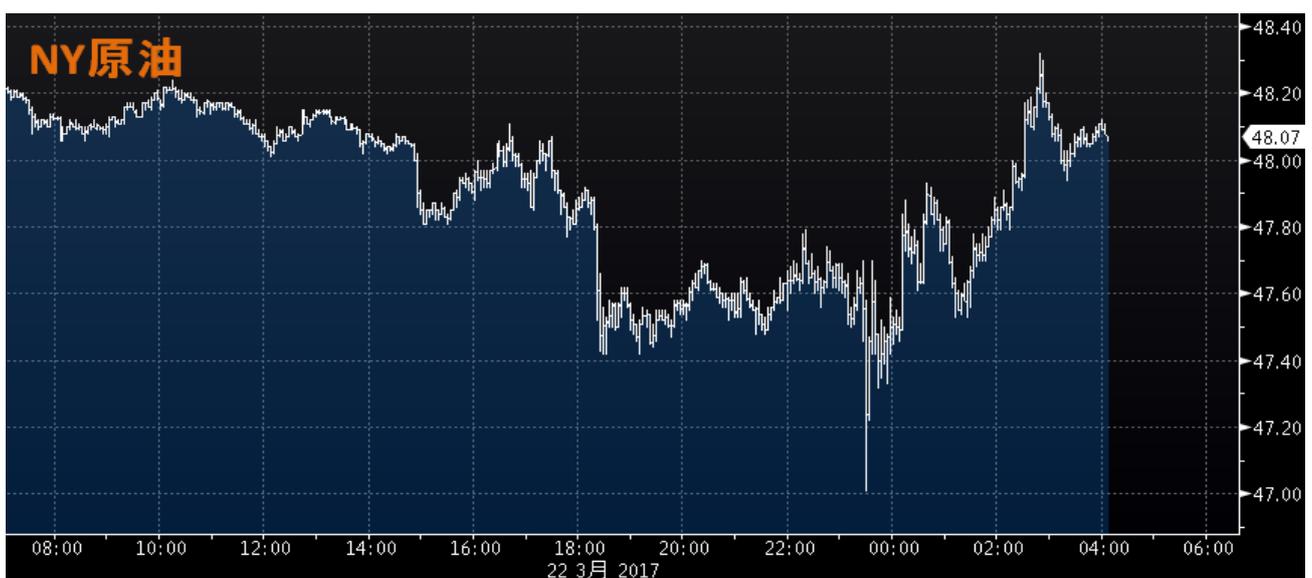


出所 : Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.20 ドル安の 1 バレル=48.04 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油統計で原油の生産高が増加し、在庫量も市場の予想以上に増えたことで供給過剰懸念が強まり、売りが広がった。ただその後は買い戻しも入り、下げ幅が縮小した。

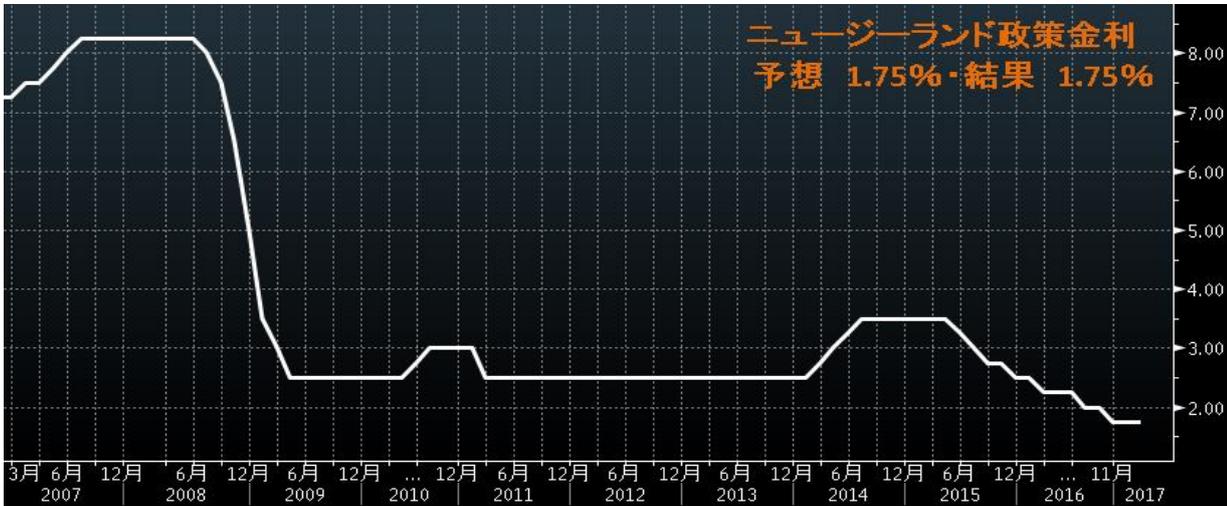


出所 : Bloomberg

5 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

ニュージーランド政策金利 1.75% (予想 1.75%・前回 1.75%)



出所 : Bloomberg

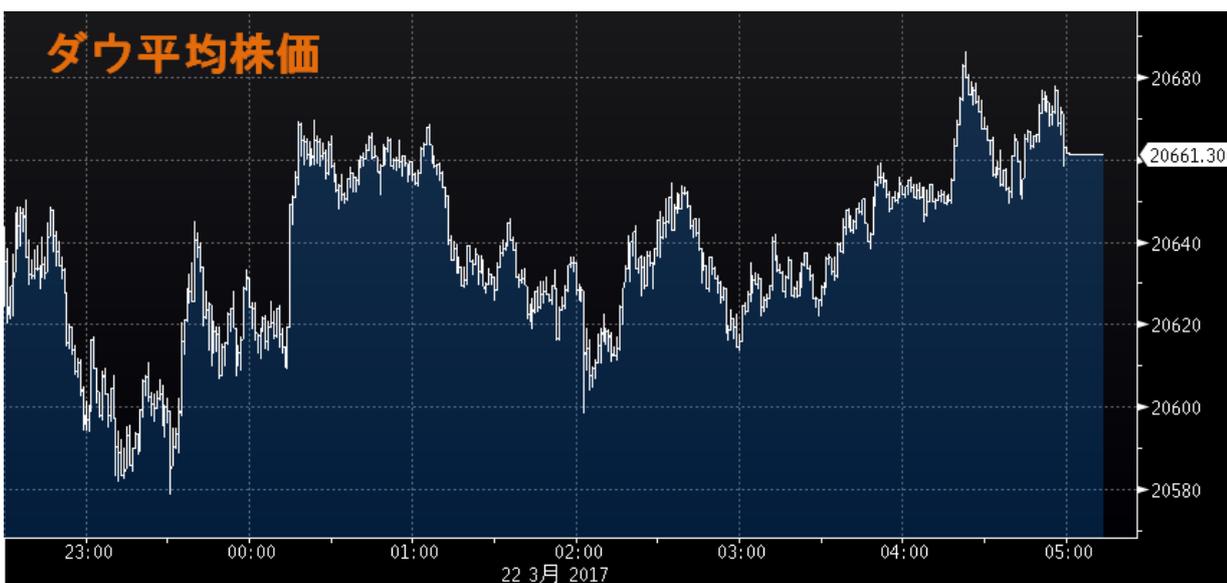
5 : 05

NZ 中銀

- ・「均衡成長のために NZ ドルの一段の下落が必要」
- ・「政策は相当な期間緩和的だろう」
- ・「インフレ率は中期的に 2%に戻ると予想」

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、米国の医療保険制度改革を撤廃・代替する法案が可決されるかが見通せないことで、トランプ政権が掲げる減税やインフラ投資などの実現に対する懸念が強まり、前日に続いて売りが優勢となった。また、欧州の主要株値の下落も意識された。終盤には下げ幅を縮小する動きとなり、ナスダックは反発となったが、ダウ平均は続落となった。



出所 : Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、トランプ政権が掲げる減税やインフラ投資などの実現が遅れるとの懸念が引き続き材料視されたことや、欧米の株価下落、米長期金利の低下を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まり、比較的安全な資産とされる円を買ってドルを売る動きが優勢となった。ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなり、ドル/円は一時昨年11月22日以来の安値を付ける場面もあった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。